



國學院大學 若木育成会 茨城県支部会報

第27号

発行日 令和6年5月1日

発行人 國學院大學若木育成会
茨城県支部

印刷所 株式会社 きど印刷所

地域別・学年別会員数

学年	会員数
1年	72
2年	79
3年	57
4年	77
専攻科	1
合計	286

県北：37名

県央：32名

県西：73名

県南：122名

鹿行：22名

令和5年度の茨城県支部は、4名の顧問と3名の参与にご指導を仰ぎ、総勢27名の役員で運営をいたしました。

会員数は286名で、地域別、学年別の分布は左図の通りです。

4月には新一年生と保護者の皆さまをお迎えできますことを心からお喜び申し上げます。

令和5年度 役員一覧（敬称略・順不同）

顧問	塙 東 男
	宮 内 守
	大 野 猛
参 与	足 立 淳
	勝 田 達 也
	黒 澤 貴 子
支 部 長	堤 弥 子
	小 室 悠 貴
副支部長	椿 明 子
	四 倉 真理子
	神 永 知 明
会 計	岩 木 幸 子
	江 寺 隆 広

会計監査	廣 瀬 克 己
	大 枝 位 江
幹 事	久保田 由紀子
	稲 毛 直 美
	増 渕 菜穂子
	浅 野 久美子
	佐 野 由里子
	秦 野 みどり
	鬼 澤 昌 宏
	堀 江 純 子
	小 川 礼 子
	市 村 幸 子
	沼 田 真 一
	佐々木 親 人

令和5年度の茨城県支部

令和5年度支部活動報告 令和6年3月時点

日 付	活 動	参加者	場 所
令和5年 5月21日	監査会・次期役員選出会議	8名	別雷皇太神社務所
5月13日	若木育成会本部総会 支部長支部連絡会	1名	國學院大學渋谷キャンパス
5月28日	支部役員会	11名	カネキ土浦店
7月1日	支部の集い 支部総会 小講演、説明会及び面談会	35名	L'AUBE
8月27日	支部役員会	11名	土浦市亀城プラザ
9月30日	全国支部長会議	1名	國學院大學渋谷キャンパス
10月7日	支部役員会	14名	土浦市亀城プラザ
10月21日	キャンパス見学会	35名	國學院大學渋谷キャンパス
12月3日	支部研修旅行会	6名	國學院大學たまプラーザキャンパス
12月3日	支部研修旅行会	28名	深川富岡八幡宮～屋形船～浅草神社
令和6年 3月24日	支部委員会	13名	別雷皇太神社務所
5月	支部役員会予定		
6月23日	支部総会		L'AUBE



語る 若い風

神道文化学部の特優人さん、岩木太洋さん、法学部の秦野幸誠さんが研修旅行会に参加されました。院友であり、花園神社で宮司をお勤めの副支部長の神永知明さんに大学生活などについてお話をうかがっていただきました。

神永知明さん（以下敬称略、神永） 國學院大學に入学してよかったと思えることは何ですか。

秦野幸誠さん（以下敬称略、秦野） 大学の博物館が素晴らしいです。博物館は「神道」、「考古」、「そして宮家ゆかりの品々を所蔵し、大学の歴史を伝える「校史」を加え、とても充実した常設展示がみられるところです。

さらに渋谷にあるという立地条件です。おいしい飲食店や、センスの良いショップなどがあり、遊びと勉強の両立ができます。



神永知明さん



秦野幸誠さん

椿倭人さん（以下敬称略、椿） 神道研修事務課の掲示板で助勤の情報を得ることができず。ほかの大学では、神社実習なども個人で探して、個人で申し込みます。

神永 助勤とは募集のあるそれぞれの神社におもむき、神明に奉仕し、祭事・神事のお手伝い（助ける）に従事することです。さまざまな神社の祭事に携わり、奉仕できることはとても貴重な経験になりますね。

岩木太洋（敬称略、以下岩木） 自分自身が成長できたことです。自分の身の回りのことなど、何事も自分でしなければならぬので社会の基本を学べました。

神永 全国の神社で神職として奉仕している同級生とのつながりが私にとって素晴らしい財産だと思います。

神永 興味深い講義についてお願いします。

椿 古典祝詞の講義です。延喜式祝詞の中に現在の祝詞の原型を見ることができます。講義で解説された祝詞の意味が実習によって裏付けられ、より深く理解できます。また、秩父神社の新井君美権欄宜さまのお話をお聞きした講義では、氏子の皆さんとの関係の築き方など大変勉強になりました。

神永 延喜式祝詞は現代祝詞の規範となっている平安時代の法典「延喜式」の第八巻に収められている二十七編からなる祝詞のことです。現在の祝詞の原型ともいえます。

岩木 神社と情報の関係について学べる講義です。エクセルやパワーポイントの応用的な使い方を学びつつ、神社のことについてもより深く学ぶことができます。神社関係ではなく一般家庭で育ったので得るものがたくさんあります。

秦野 私たちの生活と深く結びついている民法の講義です。民法は日常的な取引、金融取引、その他各種の契約や財産等を規律するもので、



岩木太洋さん

法律の基礎です。あらゆる分野で学ぶ上で、民法の知識が必要です。買い物や賃貸契約など身近な経済活動に関連しているので、日常生活で契約を結ぶ際や、トラブルに陥った際などの判断にも生かすことができます。学習にも生活にも役立つという点から、民法をしっかり学びたいです。

神永 令和4年4月より國學院大學に新たに観光まちづくり学部が開設されました。地域のコミュニティが崩壊しつつある現代に、地域をいかにして次世代に引き継いでいけるか、地域の環境・社会・経済に関する幅広い知識と技術を身につけ、それらを有機的に統合し、より良い未来に向けた「観光まちづくり」を勉強できます。神社においても祭りを通してコミュニティづくりが貢献できると考えております。若ければ、もう一度観光まちづくりについて勉強したいと思いました。新しい学部のこれからに大いに期待しております。

神永 最後に、ご家族へ一言お願いします。



樫 倭人さん

岩木 大学に入学できたのも親のサポートがあったからと行けるのも親のおかげです。SNSの返信を早くするようにします。

樫 親のしつけのおかげか、初めて経験する社務でも失敗が少なく、宮司様からご注意いただくようなことがありませんでした。

秦野 これからも勉強、サークル、バイトを頑

張るので食事と学費のサポート、お願いします。

神永 秦野さん、樫さん、岩木さん、貴重なお話をありがとうございます。私が在学の時より今の学生さんのほうがしつかり興味をもって勉強され、未来を見つめていると感じました。卒業されても國學院大學で学んだことを誇りに思っていただけと考えます。ありがとうございます。



茨城県支部の進路・就職状況

コロナ禍で停滞していた企業の採用意欲は、この2年回復傾向にあり、全国求人倍率も2024年3月卒業生（現4年生）は1.71倍と、前年度より一気に1.3ポイントも上昇しました。

業種別に見ると、この2年は建設業、製造業、流通業の求人倍率が増加。金融業などは2010年度以降は横ばいですが、製造業での求人総数などが大きく伸びており、全体としては多くの業界で採用枠・求人数は増加傾向となっています。

國學院大學の2023年3月卒業生の就職率は96.8%と、前年比で1.9ポイント上昇しました。前述のとおり、社会全体で企業の採用意欲は回復しており、学生にとって売り手市場と言えます。しかし同時に従業員規模5000人超の大手人気企業は、景気に左右されにくいイメージからか、志望する学生も年々増加しており（令和4年度の人気企業志望者は前年比で18%増）、当分そのハードルが下がることはなさそうです。

最近の就活トピックとしては、①採用活動の早期化、②職種やコース、スキル別などスペシャリストを求めるジョブ型採用を行う企業の増加、などが挙げられます。

そのため、民間企業を志望する場合、学内外の企業セミナーや説明会への参加、各社のマイページ登録などで、最新の情報を低学年のうちからチェックし、採用選考の傾向、求められる能力（語学力やIT・法務・簿記の

知識の習得、資格の取得）などを知り、早期から準備を始めておくことがますます重要になるでしょう。1～2年生などはこのあいだ大学に入学したばかりなのに、と思うかもしれませんが、今後しばらく就職活動の早期化傾向は続くと考えられています。情報収集や資格取得などのほか、1年次から大学の先輩やアルバイト先の社会人の話を聞く、目標を持つためのサークル／アルバイト／ボランティア活動、CMやニュースで気になった業界・企業を検索する癖をつける、自己の強み弱みの理解、インターシップ応募等々。低学年から就活を意識してこの中の1つを始めるだけでも、スタートダッシュには大きな差が生まれる可能性があるのです。

公務員や教員採用試験は、制度が変わり試験日程が前倒しとなります。UIJターン就職希望者は、企業の選考と地元の公務員試験や教育実習の日程が重なる可能性もあります。併願を考えている学生は、正しい情報を集め、自分にとってこれは譲れないという就職の軸（働く場所、やりがい、働き方、給与などの優先順位）を早い段階からしっかりと考えて活動しましょう。

國學院大學では、早期から将来の進路を意識してもらうためのさまざまな支援企画・講座等を実施しています。低学年次から「なりたい自分」を意識し、数々の大学企画・支援を効果的に活用・行動し、自身の希望に沿った進路の実現を図っていただきたいと願っています。

（國學院大學 学生事務部

キャリアサポート課 木村 都）

キャンパス見学会

去る10月21日秋晴れの中、保護者のための大学見学会が渋谷・たまプラーザ両キャンパスで開催されました。コロナ禍の中、昨年は参加しなくてもいろいろと心配で参加できず、今年は楽しみにしていました。

渋谷キャンパスでは、初めに若木育成会会長のお話があり、終わった後は各自好きなように見学することができまふ。各支部からの催し物（栃木県・長崎県・千葉県など）があつたり、学食体験ができたり、模擬授業を受けることもできます。キャンパス内はもちろん、大学周辺の渋谷も活気があり、娘は良い環境で大学生活を送っているのだなと感じました。学食では、現役の学生達が「今日は何の日なの？」と驚いていました。が、「うちの親も見に来ればいいのに」と話すのが印象的でした。

大学がこのように学生だけでなく保護者への配慮をしてくれることが、とてもありがたいと思います。今回参加できなかった方も、次回は是非、足を運んでみてはいかがでしょうか？

（廣瀬賢子）



支部研修旅行会

令和5年度の若木育成会茨城県支部の研修旅行は、令和5年12月3日「東京都江東区」富岡八幡宮正式参拝、浅草屋形船あみ清の天ぶらランチ、浅草自由散策」という内容で開催されました。

当日は雲一つない穏やかな天気で茨城県支部の参加者を富岡八幡宮の神様が盛大に迎え入れてくれているようにでした。富岡八幡宮の参道では骨董市が開かれており、参拝客の他に来ている方達も大勢いて、賑わっていました。バスの到着時間のタイミングが良かったので、すぐに正式参拝が行われました。大きな太鼓の音とともに祝詞が奏上され、茨城県支部の参加者一人一人が御神前で富岡八幡宮の神様と繋がれた貴重な瞬間でした。富岡八幡宮には日本一の黄金神輿があり、今回特別に扉を開けて中を見せて頂きました。第一の神輿は重さが4.5t、神輿のいろいろな所にダイヤとルビーが散りばめられており、豪華絢爛でした。一方、第二の神輿は重さ2t、鳳凰の目の中に一対のダイヤモンドが埋め込まれているそうです。どちらの黄金神輿も迫力満点で圧倒されました。偶然、参拝に来ていた方達もめったにない黄金神輿を間近で見られるチャンスに写真を撮っていました。富岡八幡宮は江戸勸進相撲の発祥の地であることから、相撲と縁が深い神社です。歴代の横綱の名前が刻まれた石碑はあまりにも大きく圧巻でした。昔の総理大臣の名前なども刻まれていて、歴史の古さを感じ

じられる時間でした。その後、婚儀殿に案内され、お茶と和菓子のきんつばを頂きながら、宮司様から富岡八幡宮についてのお話を聞かせて頂きました。富岡八幡宮での貴重な時間を、若木育成会茨城県支部の参加者の皆さんと共に過ごせて、本当に良かったと思えました。

お昼の時間にさしかかり、バスに乗って一同浅草へ。隅田川クルーズをしながらの天ぶら食べ放題ランチは、雰囲気も良くて、サクサクの天ぶらが食べられて、楽しいひとときでした。カラオケもあり、参加者の方の歌声でさらに盛り上がりしました。今回は3人の國學院大生が参加しており、大学についての意見交換会もあり、貴重な話が聞けました。隅田川ランチクルーズの時間は、あつという間で浅草の船着場に戻る頃には、スカイツリーがビルに写る場所もあって感動しました。やはり地上から見ると風景と船の上から見る風景とは、こんなに違う物なのだなと改めて思いました。

屋形船から降り、約2時間ほどの浅草自由散策はおのおの、好きな場所に行きました。やはりコロナ禍明けのインバウンドで外国人観光客が浅草にたくさん来ていて、歩くのも大変なほどの賑わいでした。まだまだ楽しい時間を過ごしたい気持ちとは裏腹に、帰りのバスの集合時間になりました。

若木育成会茨城県支部の研修旅行は、何事も順調で、事故もなく無事に帰路に着き終了となりました。研修旅行に参加すると、普段の生活では味わえない体験ができるのが醍醐味です。来年度の参加者が増えるの嬉しいと思います。

(大枝位江)



令和5年度の支部活動報告

令和5年度の活動をご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症も五類感染症に移行し、徐々に世の中は以前の姿に戻りつつあります。令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響を受けて、若木育成会でも中止を余儀なくされた行事・イベントがありました。今年度は、支部の集い、キャンパス見学会、研修旅行を計画のとおり実施することができました。

支部の集いは、7月1日(土)にL・AUBE(土浦市)にて35名の会員の皆様にご参加いただき開催いたしました。支部総会の行事に加え、大学の現状や学生の成績、学生生活、就職状況などについて、大学の教職員の方々から説明を受け、また、直接相談ができる機会です。参加いただいた保護者の皆さんも真剣な面持ちで話を聞いていらつしやいましたし、保護者同士の情報交換から新たに分かることもたくさんあったのではないのでしょうか。また、新たに開設された観光まちづくり学部、西村幸夫学部長様から「新学部・観光まちづくり学部がめざすもの」と題してご講演いただきました。学生時代を思い出し、また、大学の息吹を感じるひとときであつたと思います。

楽しみにしておりましたキャンパス見学会も予定どおり開催されました。子どもたちが通っている学び舎を拝し、近代的な校舎と歴史を重ねた神社や日本文化の講究に必要な文化財などを目にして改めて感激いたした

ました。学生さんが案内してくれるキャンパスツアーや学生食堂での昼食、体験授業や就職に関する説明会などたくさんメニューが用意されており、地元特産品の販売なども行われ、いずれも大変混雑しておりました。就職説明会は予定されていた教室には入りきれず、会場を急遽変更するという大盛況でした。短い時間でしたが、子どもたちの大学生活を思い浮かべながら帰路につくことができたことと思います。

支部研修旅行会は12月3日(日)に28名の参加をいただき、富岡八幡宮(東京都江東区)の参拝と浅草周辺の散策を行いました。正式参拝の後、宮司さんから直接お話を伺いし、深川の八幡様の由緒などを学ぶことができました。昼食は、墨田川の屋形船で頂きました。浅草からレインボーブリッジまでの間を往復する短いクルーズですが、天候にも恵まれ、陸側から見るとは違う風景を見ながら、天ぷらの食べ放題など美味しい食事を堪能しました。また、今年度は、学生生活の現況を保護者の皆さんにお伝えしたいと考え、参加された現役学生さん3名と神永副支部長による座談会を実施しました。全員が自身の言葉でしっかりと発言していたことがとても印象に残っています。その後、浅草周辺を散策し、師走の江戸の風を感じる有意義で充実した一日でした。

今後とも会員の皆様にとつてより良い事業、有益な情報をお届けできるよう努めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(江寺隆広)

令和6年度茨城県支部長に

椿 明子氏を推薦

國學院大学陸上競技部は第100回箱根駅伝において、一人一人が力強い走りを見せて着実にたすきをつなげ、総合5位と健闘しました。

脈々と受け継がれてきたたすきリレーが末永く続きますように、令和6年度も支部長を中心に、役員一丸となって支部活動の一層の充実に努めてまいりますので、会員の皆さまのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

